

マスクやフェイスシールドの効果

がっこうい こにしさ ちこせんせい かみしゃくじい
 学校医の小西佐知子先生(上石神井サン・クリニック)より、マスクやフェイスシールドの効果が
 についてのプリントをいただきました。種類別の飛沫量の割合が記載されていますので、ご
 参照ください。がっこう ふしよくが すいしやう
 参照ください。学校では、不織布のマスクを推奨しています。

マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイス シールド	マウス シールド
		不織布	布	ウレタン		
吐き出し 飛沫量 	100%	20%	18~ 34%	50%	80%	90%
吸い込み 飛沫量 	100%	30%	55~ 65%	60~ 70%	小さな飛沫に 対しては効果なし	

国立大学法人豊橋技術科学大学 Press Release より作成

<児童の登校についてのお願い>

- 現在、東京都の新型コロナウイルス感染者数は減少しており、緊急事態宣言等も発令されていませんが、感染症予防のため引き続き毎朝の検温と健康観察表のご協力をお願いいたします。健康観察表は、保護者の方が記入していただき、お子様に忘れずにお持たせください。

万が一、健康観察表を忘れてしまった場合は、昇降口に設置してあります検温器で、熱がないことを確認してから校舎に入るようにします。

- 「健康観察表」の項目に当てはまる場合など、児童に体調不良等の症状がみられる際は、無理をせず、自宅で休養するようにお願いします。発熱や倦怠感、喉の違和感などの風邪の症状が見られる場合は、かかりつけ医等の身近な医療機関に相談したり受診したりするようお願いいたします。

ご家族に体調不良等の症状がみられる場合も、可能な限り登校を控えるようにお願いします。その際は、欠席扱いとはならず、出席停止という措置になります。

- 万が一、児童または、ご家族のどなたかがPCR検査を受けることになった場合は、結果が出るまでは登校を控え、自宅待機をお願いします。休まれた期間は、欠席扱いとはならず、出席停止という措置になります。

- 登校後、児童に体調不良等の症状が見られた場合は、引き取りをお願いいたします。